

# はまゆう

第90号 新春号 令和5年1月13日発行

発行：社会福祉法人信愛会  
土肥ホーム  
住所：〒410-3301 静岡県伊豆市小土肥787-2  
電話：0558-98-2900  
発行者：福室悦子  
戸田デイサービスセンター  
住所：〒410-3402 静岡県沼津市戸田1575-1  
電話：0558-94-5550

## 祝 長寿



高田 かつ様  
大正12年 99歳



鈴木 さつき様  
大正7年 104歳



牧野 秋子様  
大正11年 100歳



大木 みと子様  
大正9年 102歳



佐山 長雄様  
大正9年 102歳



野田 トシ様  
大正6年 105歳



山口 はる子様  
大正10年 101歳



勝呂 麻巳様  
大正10年 101歳

令和4年12月現在の年齢

## 2023 年男・年女



山口 くに江様



天野 志津子様



稲木 敏子様



山田 つや様

昭和14年  
生まれ



片岡 ワカ様



佐山 シゲ様



平田 篤子様



堀井 サヨ様



笹原 君子様



川島 通幸様



山口 和代子様



佐藤 久子様



長倉 みつ子様

信愛会  
理 念  
愛・信頼・貢献

# 2022 敬老会特集

## 菜の花ホーム



ご家族よりご入居者宛にお手紙を書いて頂いて、プロジェクターへご利用者の写真を映し出し一人ひとりに向けてお手紙を代読させて頂きました。コロナ禍でなかなか面会ができない中でご家族の様子を知り、安心されたり・寂しくて泣いてしまう方もいました。

## 土肥デイサービス



9月の敬老会では、職員による歌や踊り、普段とは違う特別な「敬老会御膳」や「お茶菓子」をご用意させて頂き、皆さんの長寿をお祝いしました。マスクの下でも、いつもよりおおきな笑顔を頂きました。

# 2022 秋のイベント 特集



特養・菜の花ホームでは、少しでも秋を楽しんで頂く為に、紅葉やイチョウの作品をご利用者と作成し壁面に飾り、秋の味覚のカボチャやマロンのクリームを添えた「お茶菓子」を楽しみました。



秋の行楽シーズンになりました。菜の花ホームでは、感染対策十分にとりながら「グリーンヒル土肥」までドライブへ。少しの時間でしたが、秋の澄んだ空気を感じ、秋を彩る景色を堪能しました。他のお客様もいなかったのでマスクをはずして記念撮影♪



# 2022 年末特集



## 土肥デイサービス



ここ数年コロナ禍で開催ができなかった忘年会。規模を縮小しながらも開催の運びとなりました。職員も久しぶりで大張切り。皆さんと一緒に過ごす事ができる喜びを改めて知った1日になりました。



## 戸田デイサービス



来年の干支の作品紹介♪本物のように、体はフワフワでモコモコ。「兎」の貼り絵が完成。毛糸や綿を使って製作。大きさはなんと...畳1畳分！この絵に癒されながら、穏やかな新年を迎えます。

# 介護現場でコロナクラスターを経験して

新型コロナウイルスが世に出現し、土肥ホームとしても、できる限りの予防と対策に取り組んできましたが、8/10～9/9の間に、利用者16名、職員9名合計25名もの陽性者が発生してしまいました。毎日のように次々と陽性者が発生する中、重篤な状態となっても受け入れていただける病院もなく、終わりは来るのかと、不安な日々を過ごしました。そんな中、施設内外からの応援のお言葉や差し入れをいただき、とても心強く、土肥ホーム全体でクラスター終息を迎えることができました。しかしながら今後も新型コロナウイルスがなくなる事はありません。引き続き感染予防に力を入れ、土肥ホーム全体で立ち向かっていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

特養介護課長 梅原将行

## ～感染者数と経過～ 累計25名(利用者16名 職員9名)が感染

8月10日	利用者1名の感染が判明(感染経路不明)	8月16日	利用者1名 職員1名の感染が判明
8月12日	利用者2名の感染が判明	8月17日	職員1名の感染が判明
8月13日	利用者7名 職員3名の感染が判明	8月18日	職員1名の感染が判明
8月14日	利用者2名の感染が判明	8月25日	利用者1名 職員1名の感染が判明
8月15日	利用者2名 職員2名の感染が判明	9月9日	終息



汚染区域・清潔区域をわかるように分けるゾーニング(空間の区分け)を実施。  
それぞれに専門スタッフを配置してケアにあたりました。



日頃から、正しい防護服の着脱方法について施設内外の研修に参加して実施しています。



目に見えないウイルスが相手。防護服を着用してのケアは、苦しい暑い…。お互いが心身ともに疲弊します。

## ～コロナクラスターを対応した職員の声～

- 重症者がいても病院に入院できない状況が続き、自分の無力さ・不甲斐なさ・不安感が常にあった。
- 感染拡大が続き対応が正しいのか常に自問自答した。終息の目処が立たなくて不安しかなかった。
- 自分も感染するかもしれない恐怖感が常にあった。
- もう無理だ、限界だ、心が折れそうになり、利用者が亡くなってしまったら辞めようかと思った。
- 自宅に帰れず施設に泊り込みで業務をした。早く今までの生活に戻りたいと思った。

## ～コロナクラスターを振り返って～

- 事態を想定して準備をしても「完璧」はない。経験した事を今後の業務に繋げていきたい。
- 初期対策がとても重要。感染症は「持ち込まない」「拡げない」「持ち出さない」がとても大切。
- 感染してしまった利用者の対応をした職員、応援職員、ご理解いただいたご家族、全ての方に感謝。
- ウイルスの怖さや、利用者や自身の身を守る事の大変さ、難しさを学んだ。
- 何気ない日常も蝕んでしまうクラスターはもう二度と起こしたくない。

# 新年の挨拶

土肥ホーム・戸田デイサービスセンター施設長  
福室 悦子

皆さま、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は土肥ホームで新型コロナウイルスのクラスターが発生し、約一ヶ月間、多大なご心配をかけました。特に入居者様には隔離生活の不安、職員体制の不足によるケアの質の低下、施設全体に大きな影響を及ぼした一ヶ月間でした。思い起こせば、何気ない日常のありがたみ、互いのペースで自由に生活ができる重要性を痛感した一ヶ月でした。今後、コロナウイルスが施設に及ぶことがあっても、福祉サービス機能を維持しつつ、如何なる状況でも地域に福祉サービスを提供し続ける重要性を刻み、地域の期待と使命を持って万全な対策で臨むことの大切さを感じました。

さて、改めて二〇二三年の干支は「癸卯（みずのと、う）」。うさぎ年です。この干支の意味は「寒気が緩み、萌芽を促す年」を表します。昨年はコロナ禍による社会停滞やウクライナ軍事侵攻による世界経済の大混乱、日本の物価高に大きく拍車がかかった一年でした。今年は暗い冬の寒さを乗り越え、そろそろ世の中の希望が芽吹く春の到来がやってきそうな期待を感じます。土肥ホームでも春の芽吹きを感じさせるニュースがあります。この四月に信愛会初の外国人介護職が採用されます。かねてから人材不足の課題に新たな解決策として二名のミャンマー人女性が特養で介護業務を行います。文化や言語など異なる背景がありますが、「高齢者の健康で安心して暮らしを支える」願いは万国共通の精神に通じるものであり土肥ホームの職員も様々な多様性に触れ、勤勉さ、ひたむきさを身近で感じながら互いが高めあう職場になることを願い、新年のご挨拶とさせていただきます。



## ～土肥・戸田の中でみつけて♪～



【スズキ エブリィ号】

公益財団法人鈴木道雄記念財団様より福祉車両が寄贈。土肥・戸田地区は道幅が狭く入り組んだ場所が多々ある為、車椅子が乗車できるコンパクト車両は大変重宝！安全運転を心掛け、送迎や訪問等に大切に使用します！



【公益財団法人 鈴木道雄記念財団】

## ミャンマーからようこそ♪



チューさん      イーさん

全国的に人手不足が深刻化しており、介護業界でも日本人介護士の採用状況が厳しい中、近年外国人介護職に注目が集まっています！土肥ホームでも、この春よりミャンマーから2名の介護士を招く予定です。現在、こちらで働く為の様々な試験の合格に向けて、猛勉強中です。随時、ホームページや広報誌で紹介していきます。お楽しみに！

### 編集後記

例年より寒さが身にこたえておりますが、皆様、体調は崩されておられませんでしょうか？

今回3P目の担当をし、現場の大変さを目に浮かべながら作業して、今、この瞬間が幸せだと痛感しました。新年を迎え、一段と冷え込む日々が続きますが、くれぐれも皆様、ご自愛くださいませ。

(広報誌委員 ざしこ)

### ★ 新人紹介 ★

関 峯子 ☆☆☆  
(介護サポーター)

覚える事がたくさんあって今は大変ですが、少しでも早く仕事に慣れて、皆様のお役に立てればと思っております。頑張りますので、よろしくご指導お願いします。

### 土肥・戸田 ホームページ

戸田デイサービス



戸田デイサービスの日々 検索

土肥ホーム



土肥ホームの日々 検索

ホームページでは日常の様子や出来事、様々な取り組み等も公開中。是非、ご覧下さい。